令和7年度 第1回川越市オーバーツーリズム対策懇談会

川越市オーバーツーリズム対策事業

令和7年7月2日

川越市 産業観光部 観光課 都市計画部 都市計画課、都市景観課、交通政策課 建 設 部 道路街路課

[「]取組①川越市内主要観光エリアの混雑予想等を市ホームページ等で発信(観光課)

主要な観光エリアの混雑予想

↓市公式HP掲載ページ

主要観光エリア、公共駐車場の混雑予想について

2025/5/2 18:16

観光課です。

大型連休期間中は、川越市内は大変混雑いたします。 市ホームページに市内主要観光エリア及び公共駐車場の 混雑予想を掲載しておりますので、観光にお越しの際 は、ご確認ください。

観光マナーや交通ルールを守り、安全で快適な観光をお 楽しみください!

〈市内主要観光エリアの混雑予想〉

https://www.city.kawagoe.saitama.jp/kanko/k-benri/1017556.html

〈公共駐車場の混雑予想〉

https://www.city.kawagoe.saitama.jp/kanko/kotsu/1011604.html



一番街エリアは朝から混雑が見られ、日中に大変な混雑となり、夕方も引き続き混雑が予想されます。

また、5月3日から5日(午前11時から午後5時まで)は、一番街の歩行者天国を試行的に実施します。

↑市公式 X 投稿

「取組②市ホームページ等を活用した公共交通機関の利用の呼び掛け(交通政策課)

公共交通で!

ゴールデンウィーク期間中の川越観光は



ページID1017701

更新日(公開日自動表示)

ゴールデンウィーク期間中に川越にお越しの際は、ぜ ひ、公共交通機関をご利用下さい!

ゴールデンウィーク期間中、川越市内は人や車で混み合います。

昨年度も人と車の錯綜や交通渋滞、早期に駐車場が満車となるなど、混雑が発生しました。 渋滞を避け、安全に観光していただくため、ぜひ、川越にお越しの際は、公共交通機関をご利 用下さい!

- → 川越までの交通アクセス
- → 市内の交通













令和6年度ゴールデンウィーク期間中の一番街周辺の道路や駐車場の状況

また、市内の異動には、駅から氷川神社、麓の町並みを巡る観光向け巡回バスや、市内65億 所で賃出・返却可能なシェアサイクルが便利です。

- → 小江戸巡回パス(イーゲルバス株式会社)(外部リンク) L
- → 小江戸名所めぐりパス(小江戸川越一日乗車券)(東武パスウエスト株式会社)(外

取組③歩行者天国実施期間中の渋滞想定箇所を市ホームページ等で発信(交通政策課)

※R7新規取組

ゴールデンウィーク期間中における歩行者天国の試行的実施(5月3日から5日まで)と渋滞想定箇所について

歩行者天国実施期間中の渋滞想定箇所

令和6年度に実施した交通シミュレーションの結果から、歩行者天国を実施時に以下の区間で交通渋滞の発生が予想されます。また、ゴールデンウィーク期間中は、この他の道路も混雑する可能性があります。

ゴールデンウィーク期間中、市内の道路や駐車場が大変混雑することが予想されます。

更に、今年は5月3日から5日までの3日間、午前11時から午後5時まで、安全安心な歩行環境の実現を目指し、歩行者天国を試行的に実施することから、例年以上に中心市街地の道路 渋滞が見込まれます。

本市にお越しの際は、ぜひ、公共交通機関をご利用下さい。また、市内を車両で通行される際は、中心市街地を迂回して走行下さいますよう、ご協力をお願いします。

(参考) 令和6年度ゴールデンウィーク期間中の一番街周辺の状況









[']取組④ごみのポイ捨て防止啓発チラシを各店舗へ配布(資源循環推進課、産業振興課、観光課)



まちの美化のため、当店で販売した商品の 袋やカップなどの容器を回収しています。

To keep our town clean, our shop collects used bags, cups and other containers from customers.

为了保护环境,本店回收在本店购买的商品袋子和塑料 杯子等容器。

食べ(飲み)終わった容器は、**買**ったお店に 返却するか、家に持ち帰りましょう。

When you finish using food and drink containers, please return them to the shop where you bought the items or take them home.

使用后的容器, 请您返回购买原处, 或者请您自行带回。

[']取組⑤市SNSを活用した一番街周辺の混雑状況の発信(観光課)

※R7新規取組

←市公式 X 投稿

一番街周辺の混雑状況について

2025/5/3 10:36

観光課です。

【観光エリアの混雑状況】(10時30分時点)

一番街(蔵造りの町並み):混 雑

時の鐘 : やや混雑

大正浪漫夢通り : やや混雑

一番街周辺道路 : 混 雜

混雑を避けて、快適な観光をお楽しみください。 観光便利情報は、「小江戸川越デジタルマップ」でご確 認いただけます。

〈小江戸川越デジタルマップ〉

https://platinumaps.jp/d/koedokawagoe

取組⑥エコステーションの開設(観光課)

5月3日(土・祝)~5月6日(火・祝)午前11時~午後5時

①川越まつり会館北側 (自転車シェアリングステーション地内)



②鍛冶町広場(スマートゴミ箱を活用)



取組⑥エコステーションの開設(観光課)

①川越まつり会館北側 ②鍛冶町広場 ※①と②ビン・カンは90L袋、②の可燃、ペットボトルは 150L袋

	天気	天気場所	可燃ごみ(袋) 不燃ごみ(袋) 合計	合計	排出量		
			可燃	へ [°] ット ホ [°] トル	ピン・カン	(袋)	(資源化センターにて測量)
5/3	晴	1	15	5	2	22	
(土祝)	押	2	5	2	1	8	・可燃ごみ290kg
5/4	晴	1	20	7	3	30	・不燃ごみ20kg
(日祝)	門	2	8	2	3	13	
5/5	 - 晴	1	25	5	2	32	
(月祝)	H目	2	15	5	4	24	・可燃ごみ160kg
5/6	雨	1	2	1	1	4	・不燃ごみ30kg
(火祝)	闪	2	1	0	0	1	
	4日		91	28	15	134	・可燃ごみ450kg ・不燃ごみ50kg 合計500kg

(参考) 令和6年度排出量 10日間 合計143袋 820kg (令和6年5月3日~6日 合計 74袋 360kg)

[′]取組⑦観光マナー啓発ポスター等の掲出(A4版)、SNS発信(観光課)

MARAKINO MANAMERS No Food or Drink No Smoking Area **Eating Area** Use Trash Can Private Property Use Crosswalk

エコステーション、

川越観光用駐車場

に掲示



@KawagoeshiInfo

←市公式 X 投稿

観光課です。

大型連休期間中は、主要観光エリアは混雑いたしま す。

(特に5月3日から5日は大変混雑いたします) 川越の魅力を大切にしていくために、観光マナーや 交通ルールを守って、楽しく観光しましょう!

YouTube

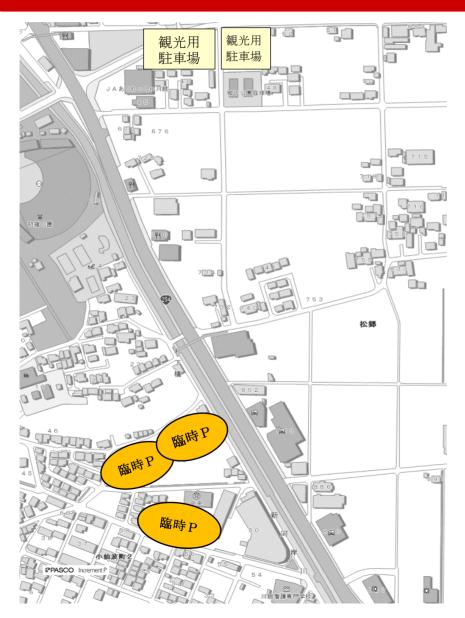


川越市からのお願い〜ルールを守って楽しく観 光〜

本市では国内外の観光客が増加し、観光客の歩き食べによるゴミのポイ捨てや食べこぼしによる道路汚損等の課題、 渋滞や道路の乱横断等の交通課題が発生しています。この 状況を改善し、持続可能な観光地の形成と市民の生活環...

17:46 · 2025/04/28 · 4617 回表示

取組⑧川越観光用駐車場(郊外型駐車場)等における警備誘導員の配置(観光課)



5月3日(土祝)~5月6日(火祝)午前9時~午後3時

警備員5名を配置。

5月3日~5日の3日間は、 川越観光用駐車場がすべて満車となり 臨時駐車場(上下水道局・小仙波職員 駐車場・オアシス駐車場)を開放。

【参考】駐車台数 川越観光用駐車場・・・290台程度 臨時駐車場・・・240台程度

ピーク時は全て満車。14時頃から減少。

取組9一番街周辺の巡回 (観光課)

※R7新規取組



↑5月4日 正午 仲町交差点

一番街エリアの入込観光客数

〇令和7年度

日にち	5/3	5/4	5/5
曜日	土 (祝)	日(祝)	月(祝)
天気	晴	晴	晴
観光客数(人)	28, 922	35, 894	35, 386

〇令和6年度

日にち	5/3	5/4	5/5
曜日	金(祝)	土 (祝)	日(祝)
天気	晴	晴	晴
観光客数(人)	32, 488	34, 970	32, 428

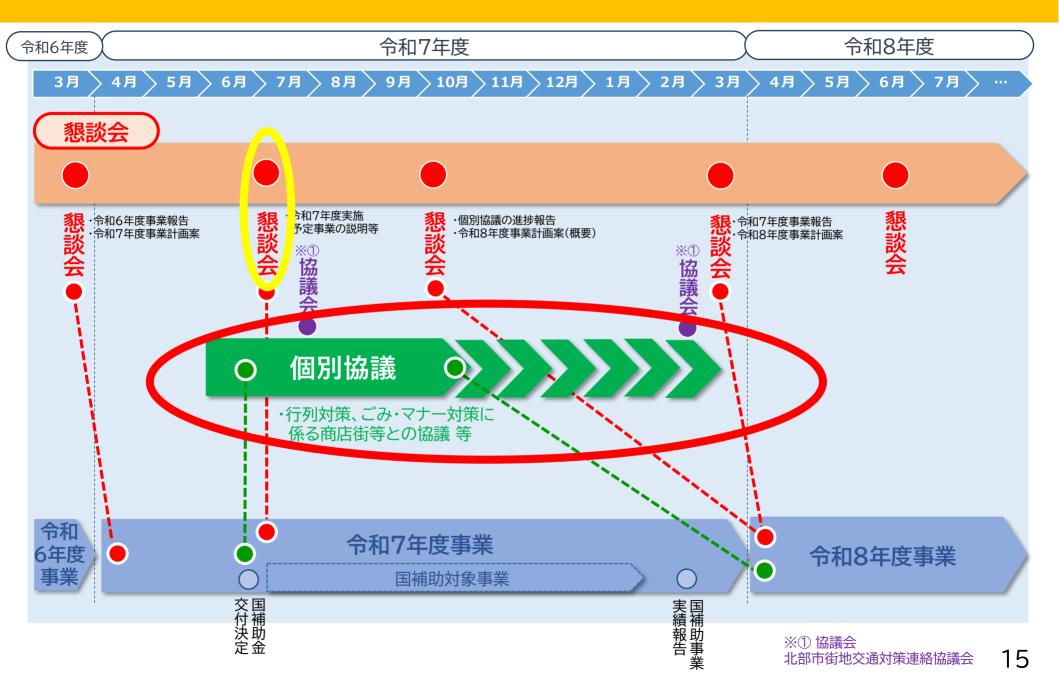
※歩行者天国実施期間中の一番街周辺の観光客数 (5月3日~5日:3日間)

令和7年度 100, 202人 33, 400人/日 令和6年度 99, 886人 33, 250人/日

約0.3%增加

報告事項(2) 個別協議について

報告事項2:個別協議について



報告事項2:個別協議について

5月16日 令和7年度 第1回クリーンアップ委員会実施

協議①行列対策について

- 整理券システムは、お試しでシステム導入ができる仕組みがあると、各店舗も 試しやすいのでは。
 - お試し導入をしてみて、良いとなれば本導入となるかもしれない。
- ・マクドナルドやスターバックス等のサイト・アプリのように、テイクアウト予 約ができるWebサイト構築にも補助金が使用できると良い。
- 単価が安い商品が多いので、システムに維持費がかかるとなると導入しづらい。
- ・行列が発生している店舗へのヒアリングが重要。

協議②ごみのポイ捨て対策について

- ・スマートゴミ箱のごみ袋にも活用できる補助金があると良い。
- ・川越クリーンアップ委員会で作成を予定しているジャンパー等にも補助金が活用できれば、ジャンパーをみんなで着用してゴミ拾い等の活動をすることで、マナー啓発及び協力者を増やすような機運が高められる。

報告事項2:個別協議について

6月26日 令和7年度 第2回クリーンアップ委員会実施

協議①川越クリーンアップ委員会の活動について

- ・北部市街地に限定せず、川越市全体の美化に向けて活動を展開しても良いのではないか。
- ・まずはクリーンアップ委員会の活動目的や範囲を整理していくことから始めていく必要がある。
- そのうえで今後、委員会をどのような形で発展させていきたいのか検討していきたい。

協議②オーバーツーリズム対策について

- ・行列対策については、すでに各店舗ごとに工夫して実施しており、商店街単位での行列対策を行うなどはしていない。
- ・ごみ対策については、補助金等が案内されれば、昨年の活用実績等も参考にしながら今年度も活用していきたい。

議題(1) 令和7年度オーバーツーリズム対策 実施事業について

令和7年度の取り組みの考え方・主な内容

方向性

全般

全般 **全般**

方向性1

交通円滑化 の推進

方向性2

観光環境の改善

方向性3

持続可能な 観光行政の 推進

考え方

令和6年度の実施結果を踏まえ、<mark>改善を図りながら取組みを継続</mark>する。また、住民・商店街等との協議に重点を置き、「目指すべき姿」や方向性、取組みに対し共通認識を図る。

小江戸川越観光協会、DMO川越も事業に加わることで地域一体での取組とする

取組内容

- ① オーバーツーリズム対策の方向性を包含した次期観光振興計画を策定
- ② オーバーツーリズム対策懇談会の定期的な開催により、共通する価値観等を踏まえた、地域全体での合意形成・共有を図る
- ③ 人流データ等による観光客の分析(DMO川越)

●方向性1 交通円滑化の推進

考え方

中長期的であるが着実に推進すべき混雑緩和策を中心に、安全安心な歩行環境や車両の流入抑制の検討により生活交通の維持・向上を目指す

取組内容

- ① 一番街周辺交通対策(5月及び11月に歩行者天国の試行的実施)
- ② 駐車場のあり方 車両の流入抑制に向けた無料観光駐車場や幸町駐車場をはじめとした駐車場のあり方、活用方策について検討
- ③ 行列対策についての個別協議 など

令和7年度の取り組みの考え方・主な内容

方向性

全般

全般

方向性

交通円滑化 の推進

方向性2

観光環境の改善

方向性3

持続可能な 観光行政の 推進 ●方向性2 観光環境の改善

考え方

事故やトラブルの発生等により地域の価値を損なうような事態を招かないよう、 即効性の高い取組みを中心に実施するほか、観光客の分散化により観光環境の 改善を図る

取組内容

- ①無電柱化の推進 ②ARコンテンツの充実による分散化
- ③夜間コンテンツ磨き上げ ④マナー啓発・周知 ⑤川越観光の心得づくり
- ⑥商店街の環境美化活動補助 ⑦デジタルマップの充実 など

● 方向性3 持続可能な観光行政の推進

考え方

観光客にも経費を負担していただく方策について、川越の観光の特性を踏まえた適正な負担について検討する(庁内検討継続)

取組内容

- ①新たな財源の必要性 ②様々な財源(法定外税、協力金等)
- ③川越観光の特性~着目すべき項目は何か ④使途の検討 ⑤シミュレーション

課題·方向整理 令和7年度の方向性 地域全体で共有・実践できる方向性を再度精査しながら、引き続き課題に対応 令和7年度 令和6年度の対策事業はゴールを 目指す中でスタートの部分のものが 川越市オーバー 多く、次のステップへ進めていくも 令和7年度 オーバーツーリズム対策事業 の、継続していくことで効果が発揮 ツーリズム対策事業 されるものもあり、改善を図りなが 具体的対策 地域全体での共有・実践 ら引き続き実施していく必要性 観光課 ②川越市オーバーツーリズム対策懇談会での意見聴取 持続可能な観光振興計画の策定 川越市観光振興計画審議会への諮問 オーバーツーリズム対策の中長期的ビジョンを包含 令和6年度 具体的対策 ❸オーバーツーリズム実態調査・分析 テーマ 方向性 ①適切な交通規制等のあり方の検討 ①-1 一番街周辺交通対策 ①-2 北部市街地交通対策連絡協議会の開催 ②公共交通の利用促進(スマートバス停) 行列対策 ②利用者数確認による効果検証 安全安心な歩行 ③北部市街地内7商店街等との協議 ③行列・混雑の解消支援(整理券システム等 環境の確保 交通円滑 ④地元関係者との協議 ④滞留スペースの確保(伝建調査) 交通政策課 北部市街地の流入抑制方策の検討 化の推進 (5)-1観光用駐車場活用検討 ⑤パークアンドライド事業の拡張性 北部市街地内7商店街等へのヒアリング ⑤-2 観光客混雑区域内市有地の活用方策検討 等に関する調査検討 車両の流入抑制 ⑥-1 市営駐車場の満空情報の発信 ⑥駐車場の混雑・満空状況の情報環 境整備 ⑥-2 民間駐車場の満空情報の発信 ⑦都市計画道路中央通り線の無雷柱 ⑦-1 道路予備設計·歩行者交通量調查 ⑦-2 電線管理者・埋設物管理者との協議 化に関する調査検討 ⑧ 無電柱化推進事業調査設計 関連商店街との協議 観光客の分散化 ⑧歩行環境の改善による同游性の 向上に関する調査検討 ⑨-1 AR事業の維持管理·充実 ⑨-2 新たな観光ルート設定等による既存の 9多様な観光拠点への誘客促進 観光拠点の魅力度磨き上げ ごみ・マナー対策 観光環境 9-3 夜間コンテンツ磨き上げ・夜間滞在推進事業 観光関連団体との連携 の改善 ⑩マナー啓発動画・掲出物等の作成及 観光客に対する び周知 ⑩ 川越観光の心得づくり事業 観光関連団体との連携 マナー啓発 ①ごみポイ捨て防止対策の支援によ ⑪-2 商店街等の関連団体の支援・連携 ①-1 商店街等の環境美化活動に対する補助 るまちの環境美化 次川 感グリーファッフを自会さい ⑩-1アクセス解析・情報発信の強化 観光関連団体事業(小江戸川越WEB)との連携 ②混雑緩和、マナー向上に向けた観 一元的な情報発信 光情報の一元的な発信 ⑫-2 混雑予測の情報発信 観光関連団体事業(小江戸川越WFB)との連携 持続可能 観光関連団体事業(小江戸川越WEB)との連携 ⑩-3 デジタルマップの維持管理・充実 な観光行 観光客にも負担を求める財源策の検討 政の推進 負担の適正化 財源策の検討 21

オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業



観光庁

別紙1

事業目的・背景・課題

- 国内外の観光需要が堅調に回復する中で、<u>一部の地域や時間帯</u>等によっては、観光客の過度な混雑やマナー違反による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度の低下への懸念も生じている状況であり、適切な対処が必要。
- 観光客の受け入れと住民の生活の質の確保を両立しつつ、持続可能な観光地域づくりを実現するには、地域自身があるべき姿を描き、 実情に応じた具体策を講じることが有効であり、こうした取組を総合的に支援する。

事業内容

各地域が現在抱えている/今後抱えうるオーバーツ|-リズムに 関する課題について、その未然防止・抑制に向けた様々な取組_※を 総合的に支援する。

<類型>

① 地域一体型: 地方公共団体/DMOが中心となり、地域の観光

関係者や住民の参画を得つつ実施する取組を支援。

② <u>実証・個別型</u>: 地方公共団体/DMO/民間事業者等が主体と なった取組を支援。(民間事業者等が主体となる 場合、地方公共団体との連携が必須)

- ※(a) 地域における受入環境の整備・増強、(b) 需要の適切な管理、
 - (c)需要の分散・平準化、(d)マナー違反行為の防止・抑制、
 - (e)地域住民と協働した観光振興に係る取組(いずれも調査・実証事業を含む。)を対象とする。

事業スキーム

- 事業形態:①、②ともに間接補助事業
- ・補助対象: 国→民間事業者(事務局)
- →①地方公共団体、DMO

補助率等:1地域あたり400万円まで定額、補助率2/3(※)、1/2、上限額:8,000万円

※申請主体が持続可能な観光に取り組む地域である場合(日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)ロゴマークを取得済又は取得予定)

→②地方公共団体、DMO、民間事業者等

補助率等: 1/2、上限額: 5,000万円

お問い合わせ先:観光庁 参事官(外客受入) 電話:03-5253-8972

事業イメージ



【一次公募】 地域一体型 選定地域一覧

今後、地域の関係者による協議の場を立ち上げ(一部地域は設置済)、現状の課題分析に基づき具体的な対策に係る計画を策定の上、取組を実施

No	申請主体	地域	計画名	
NO	THIP	26434	111111	
1	札幌市	北海道札幌市	定山渓エリアにおけるオーバーツーリズム解消の「実証モデル」実施計画	
2	小樽市	北海道小樽市	小樽市における「観光がもたらす恩恵」と「市民の安心快適な暮らし」の両立による持続可能な 観光地域づくり実施計画	
3	特定非営利活動法人 阿寒観光協会まちづくり推進機構	北海道釧路市	阿寒湖温泉エリアにおけるオーバーツーリズム解消の「実証モデル」実施計画	
4	帯広市	北海道帯広市とかち帯広空港への国際定期便就航に伴うオーバーツーリズム対策		
(5)	一般社団法人俱知安観光協会	北海道 倶知安町、ニセコ町	ニセコモデル二次交通プロジェクト	
6	6 美瑛町 北海道美瑛町		美瑛町エリアにおけるオーバーツーリズム対策計画	
7	第子屈町 北海道弟子屈町		北海道・弟子屈町における、地域住民協働によるサステナブルな観光地域づくり事業	
8	鶴居村 北海道鶴居村		鶴居村釧路湿原エリアのオーバーツーリズム対策及び未然防止計画	
9	山形市	山形県山形市	ェリア全体での観光客の適切な需要管理による世界に誇れるスノーリゾート"世界の蔵王"の推進事業	
10	尾花沢市	山形県尾花沢市	「GINZAN is an Art Museum」持続可能な観光地づくり計画	

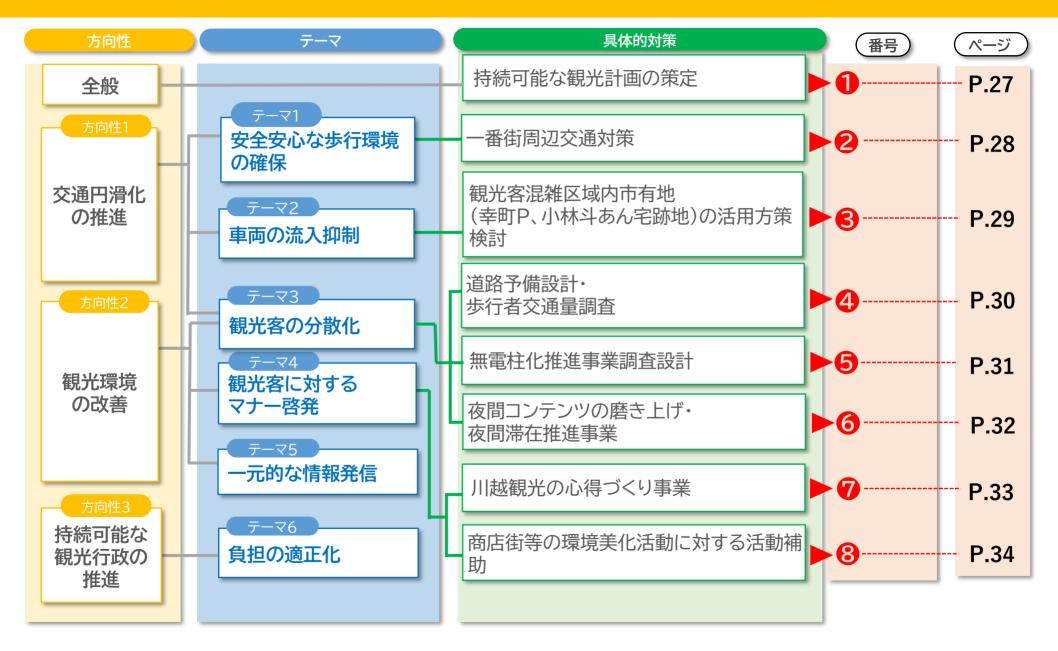
【一次公募】地域一体型 選定地域一覧

<u>(1)</u>	西川町	山形県西川町	出羽三山の主峰「月山」のオーバーツーリズム未然防止 & 持続可能な観光地づくり事業計画
12	飯豊町	山形県飯豊町	白川湖の水没林 持続可能な観光推進事業
13	川越市	埼玉県川越市	川越市におけるオーバーツーリズム対策事業
(4)	鎌倉市、藤沢市	神奈川県 鎌倉市、藤沢市	鎌倉市・藤沢市エリアにおけるオーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業
(5)	一般財団法人箱根町観光協会	神奈川県箱根町	箱根エリアにおける地域一体となった持続可能な観光地域づくり推進事業
16	一般社団法人新発田市観光協会	新潟県新発田市	月岡温泉を中心とした新発田市の持続可能な観光地域づくり事業
Ð	大月市	山梨県大月市	富士山観光の「Gateway City OTSUKI」におけるオーバーツーリズム対策事業
18	一般社団法人下呂温泉観光協会	岐阜県下呂市	オーバーツーリズム未然防止に地域一体で取り組み、ウェルビーイング向上を目指す「下呂モデル」の構築
19	白川村	岐阜県白川村	続白川郷観光最適化デザイン計画
20	熱海市	静岡県熱海市	熱海駅周辺エリアにおける交通渋滞緩和事業

【一次公募】地域一体型 選定地域一覧

2	京都市	京都府京都市	市民生活と調和した「持続可能な京都観光」の実現に向けた観光課題対策推進事業
22	洲本市	兵庫県洲本市	洲本市 中心市街地におけるオーバーツーリズム解消・未然防止対策推進事業
23	奈良県	奈良県 橿原市、桜井市、明日香村	世界遺産登録を見据えた「飛鳥・藤原の宮都」におけるオーバーツーリズム未然防止対策
24	松江市	島根県松江市	松江城周辺の混雑状況緩和及び周遊観光促進による持続可能な観光地づくり推進事業
(3)	府中市	広島県府中市	石州街道オーバーツーリズム未然防止対策計画
26	廿日市市	広島県廿日市市	宮島・宮島口エリアにおけるサステナブル・スマート観光推進事業計画
Ø	一般社団法人小豆島観光協会	香川県土庄町、小豆島町	「観光により持続できる島、小豆島」を実現するための環境整備
28	一般社団法人キタ・マネジメント	愛媛県大洲市	肱南地区における「周遊促進による文化財保護と住民環境改善のためのデジタルマップ及び サイン整備事業」
29	阿蘇市	熊本県阿蘇市	阿蘇カルデラで過ごす持続可能な分散型受入れ環境モデル実装計画
30	出水市	鹿児島県出水市	オーバーツーリズムに備え、観光と地域住民が共生するまちづくり事業

事業の方向性、テーマ、国補助金を活用して実施予定の具体的対策





【方向性】全般

【具体的対策】持続可能な観光計画の策定

担当課:観光課

【R7年度予算】 5,064,000円

R6年度取組内容

令和6年度は第二次川越市観光振興計画期間内であり、 各事業について取り組みを実施。

R7年度事業予定

令和7年度末で現計画が期間満了を迎えることから、 持続可能な観光地域づくりを推進していくため、今後5 年間の計画を策定する。

策定にあたっては、日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)への準拠及び本市のオーバーツーリズム対策を踏まえた計画書を作成する。

なお、当計画の策定に係る審議会(*)を年4回程度開催する。

*学識経験者・関係団体の代表者・公募市民で構成

【スケジュール】

・5月~6月 課題整理・目指す姿の検討等

・7月~8月 次期計画の骨子案・素案作成

・9月~10月 次期計画の原案作成

・11月~12月 パブリックコメントの実施

次期計画の最終案作成

・令和8年1月 計画の策定

【参考】 第二次川越市観光振興計画 改訂版



令和7年度事業実施による効果

【達成度指標(KPI)】

指標A:住民及び観光客の川越観光に対する満足度

年度内目標值:観光客71.5%

中期目標値:住民50%、観光客80%(2027年度) ※住民は3年に一度の調査であるため、年度内目標値 の設定なし

指標B:持続可能な観光振興計画の策定進捗率

年度内目標値:100%=計画策定

【効果】

市と各主体の役割を明確にし、データ分析を基にした計画策定を図ることで、「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な観光まちづくりの実現が期待できる。



【方向性1】交通円滑化の推進 【テーマ1】安全安心な歩行環境の確保

【具体的対策】一番街周辺交通対策

担当課:交通政策課

【R7年度予算】 22,976,300円

R6年度取組内容

安全・安心な歩行環境の確保と北部市街地における生活環境や生活交通の保全を図るため、交通量調査やそれに基づく交通シミュレーション調査、交通対策に関するアンケート調査を実施し、客観的データや地域の意向を踏まえた北部市街地における適切な交通規制等のあり方を協議・検討した。







R7年度事業予定

▶ 令和6年度に行った「適切な交通規制のあり方検討」の成果を受け、以下のとおり歩行者天国を試行的に実施し、交通量調査やアンケート調査を行うことで交通規制の影響や効果を検証する。

(実施範囲)

一番街(札の辻交差点~仲町交差点)

(実施内容)

歩行者用道路(歩行者天国)

(実施期間)

春季: 令和7年5月3日(土·祝)~5日(月·祝) 秋季: 令和7年11月1日(土)~3日(月·祝)

いずれも午前11時から午後5時まで(予定)

▶検証結果をもとに今後の交通対策について検討を行う。

令和7年度事業実施による効果

【達成度指標(KPI)】

指標①:交通対策の実施

2025年度目標值:歩行者天国試行的実施

交通対策案検討

指標②:観光客の交通手段に占める自家用車等の割合

⇒2025年度目標値:40%以下

【効果】

中心市街地への車両の流入を抑制し、一番街周辺道路 の渋滞緩和を図るとともに、交通規制による周辺交通 への影響、地域生活や経済活動への影響や効果、歩行者 や車両の安全性への効果等を十分に検証したうえで、地 域住民や関係者の意見を伺いながら、必要な対応を検 討できる。

3

【方向性1】交通円滑化の推進 【テーマ2】車両の流入抑制

【具体的対策】

観光客混雑区域内市有地(幸町P、小林斗あん宅跡地)の活用方策検討

担当課:観光課

【R7年度予算】 9,438,000円

R6年度取組内容

パークアンドライド事業の拡張性等に関する調査検討事業を実施。調査結果の中で、車両流入抑制のため、幸町駐車場の駐車場以外の活用方策について検討を進める必要があるとの言及があった。

R7年度事業予定

【事業目的】

多くの観光客で賑わい、一部の時間帯でオーバーツーリズムが発生する一番街に面した市有地(幸町駐車場・小林斗あん宅跡地)について、今後の利活用方針を検討することにより、中心市街地の車両の流入抑制に加え、オーバーツーリズムの解消に努めるものである。

【事業予定】

令和7年度については、市有地利活用方針の素案を作成 するため、以下の内容を含めた業務委託契約を締結する。

- ・土地に関する条件整理
- 類似事例の調査
- ・課題の整理
- ・地域の意見の収集、取りまとめ
- ·利活用方針の検討
- ・事業化案の複数提示





幸町駐車場

小林斗あん字跡地

令和7年度事業実施による効果

【達成度指標(KPI)】

指標: 観光客混雑区域内市有地活用方針の策定状況

年度内目標值:30%=素案作成

中期目標値①:60%=活用方針の素案策定(2026年度) 中期目標値②:100%=活用方針設計完了(2027年度)

【効果】

オーバーツーリズムが発生している区域の市有地の活用方針を策定し、実施することでオーバーツーリズムの緩和に 貢献。結果として観光客・市民生活の満足度が向上する。



【方向性2】観光環境の改善【テーマ3】観光客の分散化

【具体的対策】道路予備設計·歩行者交通量調查

担当課:都市計画課

【R7年度予算】 6,250,000円

R6年度取組内容

(都)中央通り線の仲町交差点から連雀町交差点までの区間(昭和の街)の無電柱化事業を実施するため、現地に適した無電柱化整備手法の検討を行った。

[具体的な取組内容]

- ・現地状況の調査(土地利用、配線状況等)
- ・無電柱化整備手法検討(電線共同溝方式による地中化)
- ・埋設物情報の集約図化
- ·概略平面図作成

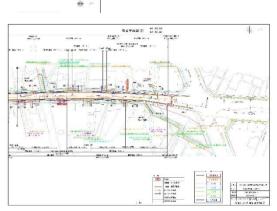
R7年度事業予定

無電柱化実施に向けて、道路予備設計により道路構造を決定するとともに、オーバーツーリズム対策事業の現状を把握し効果を検証するため、歩行者交通量調査を実施する。

- ・道路の縦横断設計
- ・北部市街地における12地点での歩行者交通量調査 (10月~11月頃、平日休日各1回)

<参考:令和6年度実績 無電柱化概略平面図>





令和7年度事業実施による効果

【達成度指標(KPI)】

指標:無電柱化設計の進捗率

R7年度目標值: 50%(道路予備設計、歩行者交通量調查)

R8年度目標值: 66%(電線共同溝予備設計)

R9年度目標值:100%(道路·電線共同溝詳細設計)

【効果】

道路予備設計を行うことで道路構造を決定し、電線管理者などとの協議資料とする。

歩行者交通量調査において現状の交通量を把握することで、今 後の具体的な観光客分散化に資する取組の効果検証に活用する。



【方向性2】観光環境の改善【テーマ3】観光客の分散化

【具体的対策】無電柱化推進事業調査設計

担当課:道路街路課

【R7年度予算】 6,000,000円

R6年度取組内容

観光客数の推移や道路の整備状況等を整理し、 観光客の分散化に向けた現状把握及び課題の抽 出を行った。あわせて、回遊性の向上も図るため、 分散化を促進する手法を検討し、対象路線の抽出 を行った。また、無電柱化の手法の検討を行い、 川越市無電柱化推進計画の素案を作成した。





無電柱化の推進(イメージ)

R7年度事業予定

- ・回遊性向上のためのルート選択
- ・ネットワーク化の検討
- ・具体的な整備手法の検討(無電柱化、道路の美装化等)
- ・整備優先順位の検討
- ・概算事業費の検討
- ・川越市無電柱化推進計画案の作成

川越市の特性に合わせた具体的な手法や業務スケジュールの検討など、実施に向けた取組みを進める。あわせて、無電柱化の推進に関する法律第8条第2項に基づいた川越市無電柱化推進計画の策定に向け、オーバーツーリズム対策及び川越市全体として活用できる計画案の作成を行う。

令和7年度事業実施による効果

【達成度指標(KPI)】

川越市無電柱化推進計画進捗度

R7年度目標値 :60%=(計画案作成) R8年度目標値①:90%=(計画策定) 目標値②:100%=(計画公表)

【効果】

持続的な効果の発現を図るため、川越市無電柱化推 進計画案を作成し、令和8年度の公表を目指す。その後、 計画的に対象路線の整備を推進していく。これらによ り、快適な観光地の形成を図ることができる。



【方向性2】観光環境の改善【テーマ3】観光客の分散化

【具体的対策】夜間コンテンツの磨き上げ・夜間滞在推進事業

担当課:小江戸川越観光協会

【R7年度予算】 2.727.273円

R6年度取組内容

R6年度観光協会が主体的に携わった夜のイベント (オーバーツーリズム事業外)

- ▼着物でANDONウォーク(主催:着物でANDONウォーク実行委員会) 令和6年9月28日出実施
- ▼食と音と灯りの融合 Kawagoe REMIX(主催:食と音と灯りの融合実行委員会) 令和6年10月12日出・13日印実施
- ▼あかり灯る大人な夜散歩2025 川越城本丸御殿をライトアップ (主催:川越市、小江戸川越観光協会、JR東日本、東武鉄道、西武鉄 道) 令和7年2月7日 金~11(火祝)実施





R7年度事業予定

混雑しがちな一番街周辺における日中の観光を分散させ、夜間帯の滞在を促進するため、夜の観光活性化事業を実施。夜間の人流増加を促進することにより、観光客の過度の混雑の緩和(時間的・空間的分散)、宿泊業・飲食業の活性化を図る。

- ・音楽イベント+ライトアップ(9月、10月、11月開催)
- ・地元飲食店との連携による特典付きサービス (ANDONウォークイベント等)
- ・地域事業者・団体と連携した共催イベントの公募
- ・統一ロゴを使用し、特設WEBサイトやSNS広告、チラシ等で一体 感のある広報展開

快適に過ごしたい旅行者層を主なターゲットとし、分散化と体験価値の両立を図る。

令和7年度事業実施による効果

【達成度指標(KPI)】

「来訪時間を「昼」から「夜」に変更した観光客の割合」 初年度(令和7年度)は5~10%の行動変容を目標

- ・夜間イベント参加者に対するアンケート調査(9~11月に実施)
- ・日中の混雑緩和と夜間経済の活性化を目的に、観光客の来訪時間帯の変化に着目。

【効果】

オーバーツーリズムの1つの課題である「時間的・空間的な集中」 を緩和するため、従来は単発で実施されていた夜間イベントを、 統一感のある企画として体系的に展開。

個々の"点"の取り組みをつなげ、"線"から"面"へと広がる効果を生み出し、地域全体での夜間回遊と分散化を促進。



【方向性2】観光環境の改善【テーマ4】観光客に対するマナー啓発 【具体的対策】「川越観光のこころえ」づくり事業

担当課:DMO川越

【R7年度予算】 3,996,300円

R6年度取組内容

次の取り組み等を通して、川越観光のあり方の方向性等を探求してきた。

【主な取り組み】

- ・観光関連団体や商店街・自治会等へのヒアリング(主に北部市街地)
- ・ミニシンポジウム・ワークショップの開催、来訪者アンケートの実施

R7年度事業予定

三者(来訪者・地元事業者・住民)の相互理解を醸成し、観光客だけに強いることのない、お互いがお互いを尊重し合う観光地域づくりを目指すため、次の取り組みを通して、「川越観光のこころえ」を策定し普及啓発を行う。

【主な取り組み】

- ・意欲ある地元事業者・住民の募集
- ・地元事業者・住民ワークショップの開催
- ・来訪者及び住民・事業者向けアンケートの実施
- ・「こころえ」の普及啓発に関するサイト構築等





R6年度に開催した「地元事業者・住民向けワークショップ」(左)と 「来訪者向け まちかどアンケート」(右)の様子

令和7年度事業実施による効果

【達成度指標(KPI)】

- ・「川越観光のこころえ」賛同宣言者数
- ·年度内目標值:30件

【効果】

賛同者の増加が関係人口の増加につながり、 各々が可能な形で「こころえ」に基づいた取り組 みを行うことで、川越観光に対する満足度の向 上や「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な観 光都市の実現に寄与する。



【方向性2】観光環境の改善【テーマ4】観光客に対するマナー啓発

【具体的対策】商店街等の環境美化活動に対する補助

担当課:観光課

【R7年度予算】 1,000,000円

R6年度取組内容

令和6年12月に補助金交付要綱を制定し、令和7年1月24日まで申請を受け付けた結果、以下の団体から申請を受け、ゴミポイ捨て防止活動が実施された。

【主な取り組み】

- ①スマートごみ箱設置:2団体
- ②商店街等の自主的な取組:3団体

R7年度事業予定

ごみポイ捨て防止対策に関連する事業を実施する際の費用を一部補助し、まちの環境美化を図る。 事業者とともに地域一体となった観光地域づくりの実現と、結果として観光客・住民の満足度向上に貢献する。

- ・商店街等との継続協議
- ・商店街等の団体による、環境美化活動等に対する補助

<参考:令和6年度実績の例 (スマートごみ箱、商店街等の自主的な取組)>





令和7年度事業実施による効果

【達成度指標(KPI)】 環境美化活動補助の補助事業者数 年度内目標値10件

【効果】

令和7年度も引き続き補助事業を行うことで、 美化活動を行う団体の増加と、来年度以降も継 続して環境美化活動を行う機運を醸成し、ごみ のポイ捨て防止につなげる。

議題(2) 各団体のオーバーツーリズム対策の 取組みについて

取組事例1:川越クリーンアップ委員会について

設立の経緯

を設立した。

オーバーツーリズムによる、ごみのポイ捨てに ついて、各商店街なども独自の取り組みをして るが、

- ・人目につかない植栽などへのポイ捨て
- ・商店街から少し離れた住宅地へのポイ捨て などの課題があった。

くごみのポイ捨ての例>



- ・ごみのポイ捨て等は観光客だけでなく排出者 (お店側)の責任でもある
- ・1つの商店街だけでなく、各商店街が協力して解決する必要があるという考え方のもと、7商店街が1つになって解決するため、「川越クリーンアップ委員会」

組織形態

- ○本会の委員(北部市街地の7商店街)
- ·川越一番街商業協同組合、
- ・鐘つき堂商店会、
- ・川越菓子屋横丁会、
- 川越名店街
- 仲町商店街、
- ・元町一丁目商和会、
- 大正浪漫夢通り商店街振興組合

○役員

委員長:長島様 (川越一番街商業協同組合)

会計:松本様(仲町商店街)

○会の目的

北部市街地における環境美化対策を進めることにより、観光客の受け入れと住民の生活の質の確保の両立を図ることを目的とする

取組事例1:川越クリーンアップ委員会について

令和6年度に実施した事業

スマートごみ箱の設置

スマートごみ箱用ごみ袋(150L)の購入

スマートごみ箱設置 〈鍛冶町広場〉



設置日:令和7年1月31日

収集日:月曜(可燃)、金曜(可燃、ビン・カン・ペット)

広告掲出日:令和7年4月

※広告主のCOEDO KAWAGOE F.C株式会社からの

広告料をごみ処理費用に活用

今後、目指すべき姿

・中心市街地だけでなく、川越の街全体の美化を保つための機運を醸成する組織とする。

令和7年度以降、実施等検討

- ・中心市街地の美化活動
- ・美化活動の活動範囲の拡大
- ・川越の美化の為の意見交換会
 - ⇒川越の街全体の美化を目指す



取組事例1:川越クリーンアップ委員会について

協賛者の募集について

「北部市街地における環境美化対策を進めることにより、観光客の受け入れと住民の生活の質の確保の両立を図ることを目的」とした委員会の活動にご賛同いただける方を探しています。

協賛特典

(公社) 小江戸川越観光協会HPへの掲載

<HP掲載イメージ案>





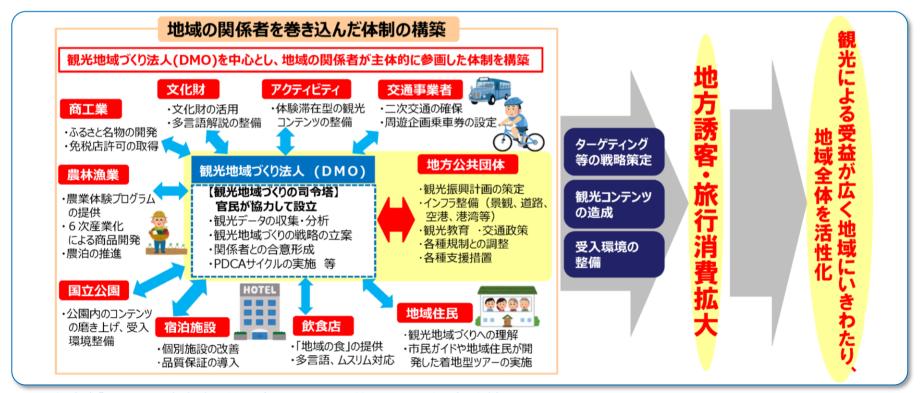
──_{─般社団法人} DMO川越について

設立: 2018年 11月

登録DMO 認定: 2022年 3月

◎国(観光庁)が各地のDMOに求めている姿

- ◆「DMO」とは「Destination Management(Marketing) Organization」の略。
- ◆ 地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた、 持続可能な観光地域づくりの司令塔となる法人。



"DMO川越"の主な役割:『戦略・マネジメント』

【観光関連団体の役割イメージ案】

川越市 (観光課)

理念•方針

見直し

戦略・マネジメント

優先順位 || 役割分担 || 事業評価

PDCA

各 施策•事業

「理念」と「施策」を定めるだけでなく、 「戦略」を持ってマネジメントしてい くことが求められている。

限られた予算やマンパワーの中で、どのような根拠で、 何から、どのような役割分担で進めていくか、 PDCAを回しながら、効率的に観光地域づくりを推進 していけるとよい。

【増強すべきこと】

- ①データの一元化
- ②横連携•合意形成
- ③民間活力導入

川越市 小江戸川越観光協会 川越商工会議所 まちづくり川越 他 各種団体

DMO川越

令和6年度:『川越観光のあり方・ビジョンづくり事業』

川越は主に個々の民間による魅力的な取り組みにより、多くの観光客に来ていただけている。



コロナ禍が明け、オーバーツーリズム的な状況が再燃



【主な課題感】

住民

・オーバーツーリズム的な状況(喧騒・交通混雑・ごみのポイ捨て・敷地内侵入等の迷惑行為 等)に不満が増加傾向。

事業者

・個々で魅力的な取り組みをおこなっているものの、別々の方向性で進んでしまうと、 エリア全体としてのまとまった魅力が減少。

来訪者

- ・飲食店の順番待ちや混雑による歩行困難など、快適ではない状況になりがち。
- ・ネガティブな感想が口コミやSNS等で拡散される。



※ 地元事業者・住民・来訪者・官(観光関連団体)のそれぞれがお互いを尊重し合い、 魅力的な川越観光が持続・発展していくための『**行動指針的なもの**』が求められる。



DMO川越では…、

【R5・6年度】 民間事業者(商店街)・自治会(住民)・観光関連団体等へのヒアリングを実施。 【R6年度】 ミニシンポジウム・ワークショップの開催、来訪者アンケート等を実施。

ヒアリングを受けて 一度取りまとめた『あり方・ビジョン(イメージ案)』

あり方・ビジョン案 【北部市街地】を中心とした案

イメージ案

2024.09.30.

川越が川越らしくあり続けるために

川越は、1457年に川越城が築かれたことから始まり、1638年の大 火後、松平伊豆守信綱が計画的に整備しました。1893年以降、 人々の手で「競造り町原」が建てられ、大正時代には洋風建築も加 わり、多くの人々により努力により、調和した町並みとなっていま す。また、川越水川祭は約370年にわたり、地域の人々が大切に受 け継いできた伝統的なお祭りです。

近年では多くの来訪者が訪れることでまちの賑わいが生まれる反而、混雑やマナー違反等により地域の暮らしに悪い影響を与えています。このままでは住民、事業者、来訪者が良好な関係を保てなくなってしまいます。そこで、消費されるだけの観光ではなく、住民、事業者、来訪者、それぞれが川越の本来の魅力をしっかりと見つめ直し、共に川越の宝を磨きかけ、将来に残していくことが大切です。

「川越観光の心得」は、事業者、住民、観光客がお互いを尊重し合いながらそれぞれの心得に取り組むことで、末永く愛し愛される川 越の観光を目指します。



川越十カ町地区都市景観形成地域と四門前のエリア。

『こんなまちにしたい』 三ヶ条

大切にしたいこと

① 風情 のあるまち 時を刻む町並みは美しく、人々の心を和ませます。ゆっくりと歩きなが ら、五感で季節の移ろいを楽しむことができ、いつもの境内では心が落 ち着きます。職人や町人文化が息づく城下町の趣深さを感じることがで きます。

・町並みを残す・楽しむ
・歴史文化を学ぶ・学べる
・宏心して歩ける

・掃除: きれいなまち ・ヒューマ: ・暮らしを楽しむ ・町人文化(・お参り・祈祷のある暮らし ・城下町で:

 ・安心して歩ける
 ・お参り・祈祷

 ・季節感を楽しむ
 ・食を楽しむ

 調和を図る
 ・技に魅入る

・町人文化(娯楽・観光)
・城下町であること
・門質師の窓囲気

② 人情
のあるまち

人々が心を寄せ合い、会話や挨拶が日常の一部となっています。祭りや 催しは過去からの贈り物であり、未来への架け橋。絆を大切にし、みん なで共にまちを作り上げます。

会話・交流を楽しむ挨拶をし合う

人を敬う・思いやる
 ・ 奴事・従事の維持継承

・祭事・催事の維持継承

∞ 誇り

誇りを持って地域に貢献し、その発展に力を尽くしながら文化と歴史を 次世代へ受け継ぎます。持続可能な社会を目指すために新たな挑戦を続 けます。

・シビックプライド酸成

・プランド化

・産地(農業等)の維持発展 ・職人や工業の維持制出 ・次世代育成 ・エコロジー・循環型

・商いの維持発展・平和

川越観光の作法 (例)

O 11 1m 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
○挨拶や交流を大切に しましょう	まちの一貝として簡繁的に地域に関わり、人とのつながりを大切にしましょう。来訪者にも おもてなしの心でサービス・商品の質を高めていきましょう。		
○暮らしとの調和を 大切にしましょう	暮らしが観光資源として捉え、地域のルールや習慣にならい、住民生活の豊かさが高まるよう、地域との調解に配慮しましょう。		
⊜まちをきれいに しましょう	川越の美しい町並みや独物を活かしながら、来訪者が楽しんで回遊できるように、美化や環境にやさしい活動を行いましょう。		
@ 文化を活かしましょう	牙継されている地域の歴史・文化・伝統を理解し、尊重しましょう。それらを活かしたサービス・商品に孔掛けましょう。未訪者へも伝えていきましょう。		
⑥季節感を大切に しましょう	全ての人が C 地よく楽しめるように、季節感を取り入れた設え、おもてなし、サービスに心掛けましょう。		
☆町並み・建物を活かしましょう	歴史や川越らしい運動のあり方を学び、それらを経済活動に活かすよう心掛けましょう。		

【来訪者】の皆さまと取り組んでいきたいこと

○挨拶や交流を楽しみ	川越への彩売が小けがえのない科験になるよう、地元の住民や事業者を尊重しながら、人と
ましょう	のつながりを楽しみましょう。
⇔地元の暮らしを	暮らしの一部にお邪魔させてもらう気持ちを持ち、マナーを守って住民の暮らしを尊重しま
思いやりましょう	しょう。
⊜まちをきれいに	川越の美しい町並みや健物を御号するために、ボイ捨てしないなど、美化や環境にやさしい
保ちましょう	活動を行いましょう。
@歴史文化に出会い ましょう	承継されている地域の歴史・文化・伝統を理解し、より深く川越を楽しみましょう。

【住民】の皆さまと取り組んでいきたいこと

○挨拶や交流を大切に	魅力的で活発な地域になるように、地域の方や事業者などとの人とのつながりを大切にしま
しましょう	しょう。米訪者に、よい思い出が残るよう、おもてなしの心で接していきましょう。
⊜まちをきれいに	自分たちの川越の美しい町並みや建物を活かし、末店者が楽しんで回遊できるように、美化
しましょう	や環境にやさしい活動を行いましょう。
○次世代の育成を	好雑されている地域の歴史・文化・存続を学び、よく理解し、尊重しましょう。それらを誇り
心掛けましょう	を持って次世代に伝えていきましょう。
四季節感を大切に	全ての人が心地よく楽しめるように、季節感を取り入れた設えを心掛け、催事等に樹樹的に
しましょう	取り組んでいきましょう。
① 町並み・建物を活かし	歴史や川越らしい町並みや建物のあり方を学び、それらの活用や維持発展に心掛けましょう。

【観光関連団体】で取り組んでいきたいこと

→ 挨拶や交流を大切に	まちの一員として積極的に地域に関わり、地域の人たちとのつながりを大切にしましょう。
	川越の美しい町並みや建物を保全し、美化や環境にやさしい活動を行いましょう。
⊜ 文化を活かそう	牙継されている地域の歴史・文化・伝統を学び、よく理解し、尊重しましょう。それらを活かしたサービス・企画・取り組みに心掛けましょう。
四 町並み 建物を活かそう	歴史や川越らしい建物のあり方を学び、それらを活かした取り組みに心掛けましょう。

月日(2024年) 会長等 理事会等

▼ [自治会			
9	宮下一	9/17(火)	0	
50	宮下二	10/01(火)	0	
la la	喜多町	12/22(日)	0	
5	元町一	09/23(月)		0
j	元町二	09/02(月)	0	
7	幸町	12/20(金)	0	
1	仲町	10/05(土)		0
ì	連雀町	09/12(木)	0	

▼商店街

间归归			
川越一番街商業協同組 合	09/09(月)		0
大正浪漫夢通り商店街	09/12(火)		0
鐘つき堂商店会	09/03(火)	0	
川越菓子屋横丁会	①09/04(水)、 ②11/21(木)	0	0
川越名店街	09/03(火)	0	
立門前商栄会	10/02(水)	0	
仲町商店街	09/03(火)		0
はつかり商店会	09/10(火)		0
連雀町繁栄会	9/11(水)	0	

▼その他

川越町並み委員会	08/26(月)		0	
川越商店街連合会	09/09(月)	0		
四者会議	①08/20(火)、		0	
	②09/26(木)		0	
商工会議所 産業推進委	①09/13(金)、			
員会 観光調査小委員会	②12/20(金)		0	

主なヒアリング先(諸団体)→ (これ以外に個々へのヒアリングを実施)

ミニシンポジウムの開催【2025年2月7日(金)・2月8日(土)】



来訪者・事業者・住民、それぞれで出来ることって何だろう

これからの川越観光を考えよう!

地元事業者・住民・来訪者・観光関連団体がお互いを尊重し合いながら、観光を通じて 魅力的な川越のまちを持続発展させていくにはどうしたらよいかを考え・共有する機会

	一日目 (蓮馨寺講堂)	二日目(蓮馨寺講堂)
開催日時	2025年 2月7日(金)	2025年 2月8日(土)
タイム スケ ジュール	19:00 開会 19:10 講演① 19:40 講演② 20:20 座談会 21:30 閉会	13:00 開会 13:10 講演① 13:40 講演② 14:20 座談会 15:30 閉会
参加	一般38名+2017·学生等 計 約70名	一般33名+zhyz·学生等 計 約65名





講演①:西川亮氏 (立教大学観光学部准教授)



講演②:堀江 卓矢 氏 (京都市観光協会 マーケティング統括官)



座談会(一日目):地元登壇者の様子



座談会(二日目): 地元登壇者の様子

来訪者へのまちかどアンケート【2025年2月16日(日)】

実施日時

2025年 2月16日(日) 14:00~16:00

会場

鍛冶町広場

アンケート回収数

192票









「川越観光の作法(たたき案)」の来訪者版(以下4項目)について、 来訪者に「今回の自己評価」と「次回来た場合の意向」等を質問。

- ① 地元住民や店舗との挨拶や交流を楽しんでみませんか?
- ② 街を綺麗に 次の観光客も気持ちよく楽しめる街にしませんか?
- ③ 川越の歴史や文化を知って、深く街を楽しんでみませんか?
- ④ 地元の暮らしをおもんばかり、観光を楽しんでみませんか?

来訪者版

地元とのワークショップ【2025年2月16日(日)】

開·	催日時	2025年 2月16日(日)18:00~20:30(会場:小江戸蔵里) 住民の方が
	参加	一般35名 + スタッフ·学生等 計 約70名 多かった
ā	- −マ	 1) 川越のどのような魅力を将来に残していきたいですか? 2) 川越の魅力を将来に残すために、どんな観光があったら良いと思いますか? 3) そのために、あなただったらどんなことができると思いますか?





今後の推進のためのポイント= 『事業者』

- 挨拶や交流を大切にしましょう
- □ 暮らしとの調和を大切にしましょう
- **(三) まちをきれいにしましょう**
- **四 文化を活かしましょう**
- 国 季節感を大切にしましょう
- ☆ 町並み・建物を活かしましょう

川越観光の作法 事**業者版** R6年度 北部市街地を 中心とした たたき案





- 2月のワークショップを受けて、今年度以降は…
- ・対象エリアを市全域に
- ・各地に残る魅力的な資源(モノ・コト・ヒト)を 掘り起こすきっかけづくり
- ・来訪者に資源を広く知ってもらう仕組みづくり
- …などをおこなうことで、

関係人口・消費額の増加等により、 持続可能な観光地域づくりの推進を図る ・まずは事業者がメインに、地域が同じ方向に向かって 取り組んでいることを外に発信することで、 川越ブランドの醸成につながり、好循環を生むことに。 (イメージ例:「越えていこう、川越」プロジェクト)

